

緊急事態宣言は何よりも感染拡大阻止のため

◆医療現場の安全と検査体制充実を

政府は新型コロナウイルス感染症対策のための緊急事態宣言と共に、基本的対処方針を公表しました。

感染拡大防止には、人との接触を避ける以上に、検査による隔離が第一です。同時に重症化予防のための医療体制整備も必要となります。イタリアなど医療体制が整わない国では死者が激増しています。

まず医療現場で「足りない」と悲鳴が上がる医療用マスク、フェースシールド、防護服等の早急な確保と医療の役割分担の準備が不可欠です。

◆経済基盤の弱い人々への支援を

事業規模で総額108兆円の経済対策が閣議決定されましたが、これから審議が始まる補正予算案は約17兆円にとどまります。

阿部とも子が座長を務める立憲民主「子ども・子育てプロジェクトチーム」では、宣言直前の7日夕刻、子



衆議院議員あべともこ
プロフィール

神奈川12区（藤沢市・寒川町）
当選7回、東京大学医学部卒業、
小児科医、あべともこどもクリ
ニック（湘南台）理事長
現在、衆議院厚労委員会／議員連
盟「原発ゼロの会」事務局長



あべともこ
公式Twitter
@abe_tomoko

https://twitter.com/abe_tomoko



あべともこ事務所
公式Facebookページ

<https://www.facebook.com/abetomoko.jp>

あべともこ

検索

あべともこと共に歩む会後援会入会のご案内及びボランティアスタッフ募集中！

特定の企業や団体などに依存しないあべともこの活動は、後援会の年会費やカンパによって支えられています。あべともこの活動にご支援頂ける方は、お気軽に事務所にお問い合わせください。

立憲民主党神奈川県連

〒231-0012

横浜市中区相生町4-69-4F

TEL 045-228-8591

FAX 045-228-8592

どもの貧困問題に取り組むNPO法人キッズドア等から臨時給付金のあり方について話を聞きました。

「1世帯あたり30万円の給付金は、収入が半分に減って、住民税非課税水準以下に落ち込んだ世帯だけ。もともと非課税の低収入世帯は対象外」、子育て世帯には「1回限り1万円が児童手当に上乘せされるそうですが、食費にも足りない」など新型コロナウイルスの影響で子どもがいる低所得世帯の実情は切実です。その訴えを、早急に政府にぶつけて是正を求めていきます。



4月7日夕刻、子ども子育てPTでのヒアリング

◆一斉休校で影響の出る世帯に支援を

今回「経済対策」として、中小企業に200万円、個人事業者に100万円と言われています。同様に、一斉休校で起る損失も、家計の収入減と共に見逃せません。

オンライン学習環境を持ってない低所得世帯の学びの機会損失は、進学や将来の収入格差につながります。

また給食がなくなることでの家計への負担、アルバイトで家計を助けている高校生や大学生が自粛要請で収入減となることにも目を向けていかなければなりません。

食事の補償は勿論のこと、学びの機会損失を最低限に抑えるために何をやらなければならないか、緊急事態や災害で最も影響を受ける人々への手厚い補償が、新型コロナウイルス対策においても忘れられてはなりません。政治家の最重要課題です。